

# NSCAジャパン東北地域ディレクターセミナー 兼 盛岡市ジュニアスポーツ医・科学セミナー 2019年3月3日(日)

主催 特定非営利活動法人NSCAジャパン、盛岡市、公益財団法人盛岡市体育協会  
後援 公益財団法人岩手県体育協会、盛岡市スポーツ少年団

時間	10:30~16:45 (10:00~受付)
会場	盛岡市都南文化会館キャラホール (岩手県盛岡市永井24-10-1)
内容	<p><b>【講義】10:30~12:00</b> <b>運動をしているジュニア世代へのコーチング(本多)</b> 全米オープンで優勝した大坂なおみのサーシャコーチも用いている言葉がけPEP TALKをスポーツ現場で実践できるよう学ぶ。伝わるコミュニケーションと伝わらないコミュニケーションの違いを知り、より伝わるコミュニケーションが取れるようにワークを通じて学ぶ。</p> <p><b>【講義】13:00~14:30</b> <b>発達障害の基礎理解~子どもの特性に合わせたコーチングのために~(畠山)</b> 近年、困りごとを抱えながら生活を送る「発達障害」と診断される子どもが増加傾向にある。彼らは学業・スポーツ活動の面では常に失敗体験の連続であり、スポーツ指導者においてもこのような子ども達にどのように関わっていくべきか大きな悩みとなっている。一方、ADHD(注意欠陥・多動性障害)と診断されながら五輪金メダリストとなった選手もいることから、障害の特性をいかにしてコーチングに活かすかが課題となる。本講義では発達障害の基礎理解を深め、特性に配慮しながらコーチングを行う土台を形成することを目的とする。</p> <p><b>【講義・実技】14:45~16:45</b> <b>育成年代からのフィジカルトレーニングの重要性(青柳)</b> アスリートを育成する上で、各年代における特性や選手の個性を踏まえることは非常に大切です。指導者が提供するプログラムによって、選手の将来は大きく影響を受けます。本講座では、育成年代におけるフィジカルトレーニングの重要性の再認識を狙いとし、サッカーを題材として育成の全体像についてご説明すると共に、経験した様々な事例から得た教訓をご紹介します。</p> <p><b>参考文献</b> : 次頁参照</p>
講師	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>本多 好郎</b> 日本スポーツ協会公認上級コーチ、日本テニス協会公認S級エリートコーチ、日本ラケットストリングアーズ協会認定Aストリンガー、ストリングショップK代表</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>畠山 修</b> M.S. 盛岡医療福祉専門学校 心理福祉学科教員</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>青柳 雅人</b> M.S., CSCS, NSCA-CPT, 日本サッカー協会公認B級指導者ライセンス 元東京ヴェルディフィジカルコーチ</p> </div> </div>
受講料/定員	会員:5,400円 一般:8,100円 / 定員:20名 (定員に達し次第締め切ります)
その他	この研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格更新のための義務研修となります。ただし、水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、バウンドテニス、エアロビクス(上級コーチのみ)、チアリーディング(コーチのみ)、スクーバダイビング、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー、プロゴルフ(教師・上級教師)、プロテニス、プロスキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません(平成30年4月1日現在)。

キャンセルポリシー	開催1週間前までにご入金がない場合、受付をキャンセルとさせていただきます場合がございますのでご了承ください。開催1週間前を過ぎますと、キャンセルチャージとして受講料の100%を申し受けます。
CEU	0.5(カテゴリーA)
参考文献	<p><b>【講義】</b>  <b>運動をしているジュニア世代へのコーチング</b>  <b>参考文献</b>  1) 浦上大輔.たった1分で相手をやる気にさせる話術ペップトーク.東京:フォレスト出版.26-81.2017.  2) 柘植陽一郎.最強の選手・チームを育てるスポーツメンタルコーチング東京:洋泉社.59-153.2015.  3) 若松健太,台本尊之,阿部健二,中田真司,小川紗綾佳,高谷秀司.スポーツメンタルの科学.東京:洋泉社.12-58.2017.</p> <p><b>【講義】</b>  <b>発達障害の基礎理解～子どもの特性に合わせたコーチングのために～</b>  <b>参考文献</b>  1) 杉山登志郎.発達障害の子どもたち.東京:講談社.40-50.2007.  2) 別府悦子.発達障害の人たちのライフサイクルを通じた発達保障.東京:全国障害者問題研究会.16-29.2012.  3) 本田秀夫.自閉症スペクトラム 10人に1人が抱える「生きづらさ」の正体.東京:SBクリエイティブ.20-104.2013.  4) 岩波明.発達障害.東京:文藝春秋.20-104.2017.  5) 星野仁彦.発達障害に気づかない大人たち.東京:祥伝社.50-130.2010.</p> <p><b>【講義・実技】</b>  <b>育成年代からのフィジカルトレーニングの重要性</b>  <b>参考文献</b>  1) Anthony N. Turner, Perry F. Stewart.サッカー選手のためのストレングス&amp;コンディショニング.Strength and Conditioning Journal Japan.24(7):48-58.2017.  2) 中馬健太郎,星川 佳広.育成年代のサッカー選手における間欠的運動能力の発達とその評価.Strength and Conditioning Journal Japan.22(10):2-9.2015.  3) 広瀬統一,菅澤大我.サッカー ボールを使ったフィジカルトレーニング.東京:ベースボール・マガジン社.12-13.2016.  4) C.ハルトマン,H-J.ミノウ,G.ゼンフ.初歩の動作学-トレーニング学:金メダルへの道しるべ.市川:コレスポ.23.2013.  5) 金岡恒治.腰痛の病態別運動療法—体幹筋機能向上プログラム.東京:文光堂.108-126.2016.  6) John Gibbons.強める！殿筋 殿筋から身体全体へアプローチ.横須賀:医道の日本社.144-145.2017.</p>

お問い合わせ お申込み 特定非営利活動法人NSCAジャパン事務局 ( seminar@nsca-japan.or.jp )  
ウェブサイト上部のメニュー「セミナー」内、各セミナーの「申込」ボタンよりお申込みください。  
URL <http://www.nsca-japan.or.jp>